

ザ・チャレンジ

(大学受験編)

新学期が始まって間もなく2カ月がたとうとしています。1年生は高校生活に慣れて、部活動や学校行事にも力を入れはじめているころでしょう。また2年生は後輩の入学とともに先輩である3年生の部活動引退の時期も迫り、これからは高校生活の中で先頭に立つことが多くなる時期かと思えます。

「新学年の始まりを契機に勉強にも全力で取り組もう」と決意したものの、目の前に意識が向き過ぎてなかなか勉強まで手が回らないと感じている1、2年生も少なくないのではないのでしょうか。大学受験に向けた勉強は早くから始めるべきだと分かっている、なかなか思うようにいかない時期でもあるかと思えます。1、2年生にとって部活動・学校行事と勉強をいかに両立させるかが、今後の学習において重要です。

部活動と勉強を両立させるポイントは三

つあります。一つ目は計画をしっかり立てることです。定期テスト前や夏休みなどの長期休暇では、1、2年生は特に勉強量の差がつきます。まずはやるべきことを明確にして、いつまでに何をやってどういう結果を目標にするか、中期の学習計画を立てられるようにしましょう。

そして、計画を実行できているかどうか毎日検証し、計画に修正をかけていくことで計画と実行の学習を実現することができます。

二つ目は日々の生活の中で、いかに時間を有効活用するかということです。多くの高校生が部活動に参加し、学校行事に取り組み、忙しい毎日を送っています。しかしながら誰しも1日は24時間、平等の時間が与えられているのです。そのため隙間時間を有効活用できるかどうか、それらを両立できる大きなポイントです。

通学中の電車内、高校での休み時間、早

Q. 部活動とどう両立させる？

朝や就寝前の10分間、まとまった時間をつくれなくてもわずかな時間を1日の中でたくさん見つけることができるはずです。この時間に「今日の授業の復習をする」「英単語を10個覚える」「数学の問題を1題解く」など、少しでも時間を活用していきましょう。

そして三つ目は、何よりもまずは高校での授業を集中して受けることです。一回一回の授業に集中し、分からないことがあればその場で解決させる。最も時間を効率よく活用できます。

部活動も勉強も、高校生にとっては大切なことです。部活動を勉強に取り組みない言い訳にするのではなく、部活動で培った精神力を生かして、文武両道を目指してください。(CG高等館 東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な「学び」の情報を紹介。次回は小学校編。

A. 計画を立て、時間を有効に、授業に集中



大学進学情報紙「TOSH
IN TIMES」
CG高等館 東進衛星予備
校各校舎で無料配布中